

ふかがわ 市議会 だより

第1・2回臨時会、第2回定例会

- ◆臨時会・定例会のあらまし……………2P
- ◆可決した条例、補正予算、意見書など……………3～5P
- ◆一般質問……………6～15P

全国市議会議長会表彰……………16P

教えて市議会

- ◆「動議ってなに？」……………16P

No.240 2020.8

令和2年8月6日発行

発行 深川市議会

編集 広報編集委員会





条例	補正予算※	人事案件	意見書	付議事件※
7件	10件	31件	6件	4件

第1回
第2回
臨時会

第2回
定例会

新型コロナウイルス関連補正予算を可決

Pick Up

補正予算 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しさまざまな施策を実施 **全会一致**

5月8日開会の第2回臨時会及び6月8日開会の第2回定例会において、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や市民生活を支援するための各事業費が計上された一般会計補正予算を可決しました。事業費は国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(第1次)」で全額賄われるもので、総事業費は約1億4,226万円です。

市立病院感染症対策事業



総額 1,206万円

PCR検査用試薬等の整備、発熱外来用感染患者対応陰圧テントの整備、感染患者等搬送用車両の整備

感染症対策等に取り組んでいる事業者への支援事業



総額 1,130万円

障害福祉サービス事業者支援事業180万円、保育園等の感染拡大防止対策協力支援事業270万円、交通事業者感染予防協力・支援金事業680万円

Pick Up

補正予算 市立納内診療所の診療を再開 **全会一致**



総額 3,258万円

4月27日開会の第1回臨時会において、平成29年6月以降休診となっていた、市立納内診療所の新たな受託医師が内定したことに伴い、診療所の再開に要するための経費などが計上された一般会計補正予算を可決しました。

診療科目：内科・小児科・総合診療科を予定
再開時期：8月下旬を予定

※補正予算 年度当初の予算(当初予算)に、追加・その他の変更を加えるために提出される予算
※付議事件 本市議会だよりでは、議案のうち条例、補正予算、人事案件、意見書以外のものを付議事件としています。

感染防止策を講じて 第2回定例会を開催



第1・2回臨時会、第2回定例会

議案・審議結果のあらまし

新型コロナウイルス 感染症への対応

提案された議案の 審議結果

新型コロナウイルス感染症対策事業費などの緊急案件を審議するため、5月8日に第2回臨時会を開催したほか、6月8日から16日にかけて開催した第2回定例会でも感染拡大防止策を講じるための補正予算などを審議しました。

また、3月の第1回定例会で取りやめていた一般質問は第2回定例会に繰り越し、第2回定例会分とあわせて実施しました。

議会運営においては、第1回定例会に引き続き、出席者のマスク着用と手指消毒を徹底したほか、説明員の出席は必要最小限とし、議場内は議席の間などに透明なアクリル板の間仕切りを設置して、おむね1時間ごとに議場内を換気するなど感染予防対策を講じました。

第1・2回臨時会に提案された議案は補正予算各2件。第2回定例会に提案された議案は条例7件、補正予算6件、人事案件31件、意見書6件、決議案2件、そのほかの付議事件として報告等2件の合わせて54件でした。

臨時会の補正予算各2件は全会一致で可決。定例会では、補正予算1件、人事案件31件を初日に可決または同意。条例7件は6月11日の各常任委員会審査を経て、16日の最終日に全会一致あるいは賛成多数で可決しました。

また、16日の最終日は、議事延期及び追加提案の補正予算5件、意見書6件を全会一致で可決したほか、決議案2件を賛成少数で否決しました。

【人事案件】

■教育委員会委員の任命

阿部 みどりさん **同意**

教育委員会委員 定岡雅則さんの任期満了に伴い、後任として阿部みどりさんを任命したいとの提案があり、全会一致で任命に同意しました。

■農業委員会委員の任命

同意

為井 新市さん
安居 博知さん
山崎 和徹さん
青木 実さん
安村 一稔さん
栗野 良寛さん
金谷 道宏さん
中川 幸生さん
菊入 等さん
山川 功さん

馬木 逸男さん
板垣 昭仁さん
高橋 淳一さん
大川 広志さん
清水 正勝さん
伊藤 裕美さん
清水 義博さん
塩尻 総徳さん
大森 毅英さん
廣田 和也さん
五十嵐 剛さん
荒井 政明さん
荒井 優さん
鈴木 陽志さん
宮武 努さん
山田 正信さん
松浦 明美さん

農業委員会委員の任期満了に伴い、新たな委員として、農業に関する識見を有する27人を任命したいとの提案があり、棄権1人を除き全会一致で任命に同意しました。

【補正予算】

第2回定例会で提案された補正予算のうち、増額補正となった主なものを掲載します。

■総合行政システム管理運営

国のマイナポイント事業の実施に伴う準備経費 **74万円**

■新規就農者確保対策事業

新規就農者に交付する就農支援資金事業補助金 **200万円**

■総合運動公園体育施設維持管理

スポーツ振興くじ助成金を受け、市民テニスコートを改修するほか、陸上競技場のマット等の備品購入に係る経費 **1億2371万円**

【意見書】

全会一致で可決し、内閣総理大臣などに送付しました。

全会一致

■新たな基本計画における農村振興の強化を求める意見書

■「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への還元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書

■地方財政の充実・強化を求める意見書

■2020年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

■新型コロナウイルス対策にかかるとる地方財政の充実・強化を求める意見書

■過疎地域への取り組みのさらなる強化を求める意見書

【条例】

第2回定例会で可決した条例案の主なものを掲載します。

■深川市税条例の一部を改正する条例

全会一致

地方税法施行令等の一部を改正する等の政令が公布されたことに伴い、国民健康保険税において低所得者に係る国保税の軽減措置の拡充を図るため、5割及び2割軽減に係る軽減判定所得の算定方法を、法令の定めにとつて改めるものです。

■深川市介護保険条例の一部を改正する条例

全会一致

65歳以上の第1号被保険者に係る介護保険料について、消費税率の引き上げに伴い、市民税非課税世帯に対し令和元年10月から令和2年3月分までの保険料負担軽減を行っていましたが、令和2年4月に介護保険法施行令の一部が改正され、令和2年度は1年分の保険料軽減を適用することとなったため所要の改正を行うものです。

■固定資産評価審査委員会委員の選任

同意

轡田 淑子さん

固定資産評価審査委員会委員 轡田淑子さんの任期満了に伴い、後任として再び同氏を選任したいとの提案があり、全会一致で選任に同意しました。

■人権擁護委員候補者の推薦

適任と答申

宮川 央子さん
藤岡 順子さん

旭川地方法務局長から依頼がありました人権擁護委員の候補者として、宮川央子さんと藤岡順子さんの推薦があり、全会一致で適任と答申しました。



■深川市営住宅条例の一部を改正する条例

全会一致

民法の改正により、保証人制度に関する規定が見直されたことを受け、本市においても入居要件の連帯保証人に関する規定を、緊急時の連絡先で足りるよう改めるとともに、法定利率の規定について所要の改正を行うほか、既に空き家となっている北光団地の1棟2戸とあけぼの団地の4棟24戸を用途廃止するものです。



市議会だよりに掲載しきれなかった案件は市HPで確認できます。



議決結果：市HP

議決結果	議員名（議席番号順）													
	北名 照美	田中 昌幸	鶴岡 恵司	小田 雅一	近沢 弘幸	辻本 智	宮澤 孝司	太田 幸一	田畑 陽美	大前 昭代	北村 薫	山本 時雄	松本 雅祐	佐々木 一夫
可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※賛成=○、反対=●、棄=棄権、除=除斥（採決に加わるできません。）
鶴岡恵司議長（議長除斥時は田中昌幸副議長）は採決に加わりません。

第2回定例会で行った13人の議員の一般質問を紹介します。



おたこういち 議員 (新政クラブ)

防災計画と防災対策

防災ガイドを全世帯に配布

Q 国の防災計画と防災対策には大きな乖離がある。浸水想定の大きな見直しやダム緊急放水調整など、大風呂敷の計画だが、国の対策予算はOECDの加盟国36カ国中34番目である。市の取り組みを伺う。

A 国の防災基本計画に基づき、地方公共団体は地域防災計画を作成することになっており、本市も昭和40年に地域防災計画を策定し、平成27年に大幅な改定を行っています。計画の中ではハザードマップの作成についても規定しており、本年、ハザードマップの浸水想定をおおむね1000年に1回の大雨によるもの

に見直し、防災ガイドブックとして5月に市内全世帯へ配布しました。

新型コロナウイルスの課題対応は

改正など、火事場泥棒的対応の厚顔無恥。深川市の感染症対策の基本的方針を伺う。

A 道内では緊急事態宣言解除後も依然、新型コロナウイルス感染症の患者が出ており、感染拡大予防の対策を引き続き行う必要がある状況が継続しています。市としては、市民から感染者を出さない、クラスターを発生させないことを第一に、新しい生活様式、北海道スタイルの実践の徹底を図りつつ、社会活動や経済活動ができるだけ早期に元の状態に戻るようさまざまな対策をとっていくことを基本的な対応としています。

洪水避難地図(洪水ハザードマップ): 市HP



防災ガイドブック



ささきかずお 議員 (新政クラブ)

道の駅テナント差別的扱い 地方自治法等に沿って対応

Q (株)深川振興公社は、かつてA工場の券売機を根拠も示さず撤去させた一方、現状のB社のカフェとテイクアウトコーナーでのコーヒー・おにぎり販売は応募要項違反が疑われる。差別的な取り扱いではないか。

A 当該テナントの券売機については、事業者が自主的に引き下げたと深川振興公社から聞いています。また、道の駅「ライズランドふかがわ」のテナントに関する事について、市では応募要項や地方自治法に沿った対応をしていることを申し上げた上で、質問の内容が、現在係争中の住民訴訟事件にかかわるため、

訴訟代理人とも相談し、個別員体にお答えすることは控えさせていただきます。

道の駅カフェコーナー開設決裁書

Q 道の駅カフェコーナーの開設理由書等を情報公開請求したが、恐らく企業情報を理由に非公開とされています。

A 本件に係る情報公開請求については、深川市情報公開条例第5条に基づき、非公開としています。同第5条にある事業活動情報の具体例として

道の駅「ライズランドふかがわ」: 市観光サイト



道の駅「ライズランドふかがわ」



つじもと さとし 議員 (公政クラブ)

現場の労働環境の実態は 各事業所の努力により改善

Q 深川市労働基本調査によると、建設・製造業を中心に働き方改革の取り組みが前進している。労働時間及び休暇取得状況など、雇用の継続に努力されている現場の取り組みについて伺う。

A 令和元年度の労働基本調査では、建設業やサービス業において、労働力が不足しているとすると割合が前回調査より増加している一方で、時間外労働の時間数が減っているという結果が出ています。この背景として、特に建設業においては、人材の確保や定着に苦勞しているといった声もある中、働く人の安全・健康といった就労環境や処遇の改善

についても努力されていることが、まさに数字としてあらわれているものと考えています。

通所介護事業の継続に行政の支援を

Q コロナ禍の中、高齢者の介護事業所ではサービス利用者の安全確保と必要な対応に多くの努力

が重ねられている。地域における介護事業の継続のために、行政としての支援を検討すべきと考えられるかがか。

深川市労働基本調査: 市HP



労働基本調査報告書



おおまえ あきよ
大前昭代 議員
(民主クラブ)

これからの高齢者支援

関係機関と連携し支援する

Q 孤立しがちな高齢者が、喜びや不安を分かち合う事ができる心の豊かさを持ちながら、命や生活を守ると同時に尊厳も守る支援が必要であると考えます。現在行っている対策と今後の考えについて伺う。

A 市では、定期的に電話や自宅訪問で安否を確認する、ひとり暮らし老人等安否確認サービスを行っているほか、市内37の民間事業者と地域見守りネットワーク協定を締結し、高齢者の日常生活の見守りに協力いただいています。また、関係機関などと連携して訪問や声かけなど日ごろから見守り活動に協力いただき、

地域から孤立することなく安心して暮らすことができる体制づくりに引き続き取り組んでいきます。

障がい理解するための取り組み

Q 障がいのあるなしに関係なく、共に支え合い暮らしていくために、手助けを必要としている方に、優しく手を差し伸べる事が自然にできる接し方の勉強会や講習、障がいを考える、知るための取り組みを伺う。

A 北空知自立支援協議会子ども部会において、研修会や講演会を開催しており、昨年度は、発達障害のある子どもたちの思春期への対応をテーマにした講演会を実施しました。また、本年9月に本市で開催を予定していた第69回全道身体障害者福祉大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりましたが、今後は別な機会を通して、障がいについて考える取り組みなどを検討したいと考えています。

地域における高齢者の見守りについて：市HP



地域見守りネットワーク協定締結式



たばた はるみ
田畑陽美 議員
(民主クラブ)

地域共生社会の地域づくり 地域における諸課題を議論

Q 今日の高齢者の安心だけでなく中長期的な暮らしの見通し、住民がいつまでも安心して暮らしていける持続可能な地域共生社会の地域づくりを目指すため、地域住民との多様なつながりが必要だと思いが市の考えは。

A 住み良いまちをつくるためには、市民と行政が共に知恵を出し合い、力を合わせていくことが重要であると考えています。地域の課題に対し、各地区の町内会やコミュニティセンターの運営主体である各コミュニティ振興会などの各種団体と連携していくほか、深川市協働のまちづくり推進市民協議会の中でアイデ

Aを募るなど、今後においても地域における諸課題について議論していきたいと考えています。

市立病院の待ち時間不満軽減対策

Q 医療機関において患者が抱く不満の中で、常に上位を占めているのが長い待ち時間である。待ち時間による不満を軽減するために、市立病院でこれまで行われてきた対応策と今後の取り組みについて伺う。

A 市立病院では、待ち時間対応策として、事前採血検査の実施や外来待合ホールにニユースなどの情報を提供する電子情報掲示用モニタを3台設置しているほか、本年4月からは外来待合エリアにスマートフォンなどを快適に使用できるフリーWi-Fiの環境を整備しました。今後も、道央10市の市立病院事務担当者会議で情報収集を行うなど、待ち時間への有効な対応策の検討及び実施に努めます。

みんなで進めよう市民協働のまちづくり：市HP



協働のまちづくり推進市民協議会の様子



やまもとときお
山本時雄 議員
(令和公明クラブ)

市立病院の経営状況を伺う コロナ禍で減収の見込み

Q 市立病院の経営に関して、一般会計繰出金の状況と今後の見込みをどのように考えているのか。平成26年度から令和元年度まで、多額の繰り出しを行っているが、将来的に改善されるのか、これまでの経過と見込みについて伺う。

A 一般会計からの市立病院への繰出金について、平成30年度以前の過去5年間の平均で、毎年約11億円の繰出金を措置していましたが、令和元年度は、8億1400万円程度が見込まれ、過去の平均との比較では3億円弱の減少が図られたところですが、今後の見込みです。今後の見込みです。が、新型コロナウイルス

感染症の影響による減収が見込まれますし、それに対する国の新たな政策も踏まえ、引き続き適切な額を措置する考えです。

コロナ禍での花卉農家への支援策は

Q 花卉農家は4月から出荷が始まっているが、昨年より大幅な価格減少が続いている。今後はコロナ禍の影響で、イベントもなく大変な事態が予想されるが、市として独自の支援策があるか伺う。

A 生産者ごとの収入全体を見て総合的に補填する国の収入保険制度がありますが、加入していない生産者もあり、今後価格の下落が続けば、大きな影響を受けることが懸念されます。このため、JAきたそらちと連携し、国の高収益作物次期作支援交付金の確保や経営継続補助金などの有効活用を努めるとともに、今後の市場動向などを見きわめながら、さらに必要な対応について検討したいと考えています。

農業経営の収入保険：農林水産省HP



最盛期を迎えたスターチス



たなかまさゆき 議員
田中昌幸 議員
(民主クラブ)

市立病院経営への影響は

感染予防対策で大きく減収

Q 国指定の第2種感染症指定医療機関として2月以降、新型コロナウイルス感染症に対応するため、感染症病床を増床して確保したことや、診療抑制などによる市立病院の経営への影響について伺う。

A 市立病院は4床の感染症病床の指定を受けており、当初はこの病床と2部屋8床の一般病床を活用し、感染症患者の入院診療体制を確保していましたが、北海道よりさらなる受入病床確保の要請を受け、4月上旬からは感染症病床4床に加え8部屋29床を空床化し、受入体制を確保しています。また、感染予防のため

の不急の手術や入院の制限、外来診療の簡素化により、2月・3月は6200万円程の減収を見込んでいます。

民への情報発信ツールとして、緊急警報対応ラジオの導入とFMローカル放送局の開設に向けた検討会の設置について伺う。

確保などのさまざまな課題があるため、検討会の設置も含め引き続き研究を行っていきたいと考えています。また、北海道胆振東部地震の際に被災地自治体が臨時災害放送局を運用した事例もありますので、このことについても研究したいと考えています。



深川市立病院



ちかさわひろゆき 議員
近沢弘幸 議員
(公政クラブ)

デマンド交通運行の考えは

地域の実情を勘案して検討

Q 路線バスの減便は、人口減少を初めバスの乗務員不足も原因となっているが、住民の足を確保することは重要である。デマンド交通の運行について考えを伺う。

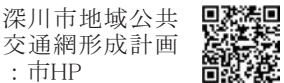
A 公共交通空白地域での移動手段確保については、深川市地域公共交通網形成計画と、第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、デマンド型乗合タクシーの導入検討を進めるとしています。近年の乗務員不足による路線バス減便などの影響を受けた地域では、早期導入に向けた要望も高まってきていますので、そうした地域から要望があった場合は、

地域の実情を勘案した交通体系が構築できるような検討を進める考えです。

Q 特別定額給付金の新生児対象拡大を

Q 特別定額給付金の対象者は4月27日の基準日に住民基本台帳に記録されている方となっているが、深川市独自の取り組みとして、4月28日以降に生まれた新生児への給付について考えを伺う。

A 特別定額給付金の本市独自の取り組みについては、これまで、国が基準日を定めて給付などを行う事業において、公平性の観点から、基準日に沿って取り進めてきた経過があり、今回も同様の



路線バス



きたなてるみ 議員
北名照美 議員
(日本共産党)

障害者加算カットは違法 適切に対応するよう注意

Q 私が代理人となって北海道に不服申し立てを行った、生活保護利用者の障害者加算カット事案は「深川市は違法」の裁定となった。この事案についての反省点、本人への謝罪、担当職員の処分状況について伺う。

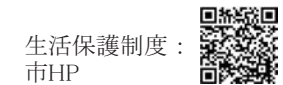
A 本事案は、精神保健福祉手帳の有効性のみで加算の有無を判断したことによる誤りでした。市としては、北海道の裁定後、直ちに加算を認定するとともに、所管部長が当該世帯を訪問し、事務処理の誤りについて謝罪を行いました。所管課長に対しては、適切な対応に努めるよう3点にわたりに口頭にて注意し、処分

等については、事務処理上の誤りであるため、懲戒には該当しないと判断しています。

市職員採用時に福祉施設での研修を

Q 市職員に採用される約40年間市役所に勤務することになる。昨年12月30日の朝日新聞への田中真紀子氏の投稿もあったが、優しい心を身につけるため採用時に福祉施設で研修する考えについて伺う。

A 本市の職員研修は、深川市職員研修規則に基づき、職員研修実施計画を定め取り組んでいます。介護現場においては、市職員として多様な視点を



生活保護制度：市HP
介護施設介添えボランティア研修



まつもとまさひろ 議員
松本雅祐 議員
(令和公明クラブ)

緊急小口資金制度について

わかりやすい周知に努める

Q 新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等で減収となり、経済的に困っている方の生活を維持するため、1回20万円を上限に貸し付ける制度があるが、制度内容と周知について伺う。

A 北海道社会福祉協議会が実施している緊急小口資金は、緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に、最大20万円を上限に無利子、保証人不要で貸し付けるもので、今回、貸付対象者の拡充に加え、措置期間延長などの特例措置を実施しています。周知については、市ホームページで制度説明などを掲載しているほか、国のホームページ

ジをリンクさせるなど、今後よりわかりやすい周知に努めます。

自分の健康を守り作るフレイル予防

Q 加齢に伴い筋力など心身が衰えて介護が必要となる一歩手前の健康状態であるフレイルは、早期に適切な治療や予防に

取り組めば防止できる。健康寿命を延伸する本市のフレイル予防の取り組みを伺う。

生活機能をチェックしてみよう：市HP



介護予防事業の様子



みやざわたかし 議員
宮澤孝司 議員
(令和公明クラブ)

中央公民館の建てかえは

立地適正化計画により検討

Q 市役所庁舎と高等看護学院の建てかえが決まったことで、中央公民館の建てかえが後回しにされたという市民の思いがある。現在の状況における中央公民館建てかえの考えを伺う。

A 市の施設整備については、施設の性格や必要性及び運用コストを検討するとともに、市の財政状況などを見きわめながら、有利な財源を確保して整備を進めていくこととしており、中央公民館についても、同様に検討を進めています。現在、策定中の立地適正化計画において、中央公民館の整備についても検討する予定であり、当面は他の

施設の整備状況などを把握するとともに、関係所管と連携し、協議を行っていく考えです。

商店街ポイントカードとの連携事業

Q 健康診断などの受診率向上に対する取り組みとして、受診時に発行する健康福祉ポイントと商店街の買い物ポイントとを合算し、特典サービスを受けられる連携事業について、取り組みの考えを伺う。

A 受診率向上のための取り組みとして、現在のところ、特定健診の特典サービス事業を重点的に取り組んでいます。特定健診の受診率が伸び悩んでいるため、受診率向上への取り組みは重要であり、ポイント制を生かした取り組みは、とても参考になるものと思われることから、今後、これら先進地の取り組みを研究するなど、受診勧奨への効果的な対策について検討していきたいと考えています。

公民館：市HP



中央公民館



おだまさいち 議員
小田雅一 議員
(公政クラブ)

コロナの地域農業への影響

価格下落・在庫増加を懸念

Q 国の緊急事態宣言による自粛によって、日本経済は厳しい状況となっている。深川市の基幹産業である農業に与える影響も大きいものがあると想定されるが、市内農畜産物の現状と影響について伺う。

A 米、ソバは、外食店などの休業により外食需要が減少し、価格下落や繰越在庫の増加が懸念されています。肉牛も、前年比で枝肉価格は20%、30%、素牛価格は15%、20%減少している状況です。国の施策としては、収入減少影響緩和交付金や収入保険制度、肉用牛肥育経営安定交付金制度、肉用子牛生産者補給金制

度などがありますが、価格下落に対応した制度に未加入の生産者もあり、影響を懸念しています。

臨時休業による学力低下はないか

Q 学校の臨時休業による学力低下が懸念される。深川市で実施している学習サポートプログラム事業

A 本市においては、児童生徒や教職員の負担を考慮し、長期休業期間の短縮などによる授業時数確保が必要と考えています。また、学習サポートプログラム事業のうち、長期休業期間を行うチャレンジ深川の実施の可否を検討しているほか、小学校放課後教室については、実施回数をふやし、学習内容を充実させて実施するなど、誰一人取り残すことなく、学びを保障する姿勢のもと、学校・家庭・地域と連携して対応していく考えです。

経営所得安定対策：北海道農政事務所HP



価格下落が心配されるふかがわ米



きたむら かおる
北村 薫 議員
(公政クラブ)

台湾若年層へ深川市をPR つながりを大切に準備



深川観光協会HP



台湾の教育旅行を受け入れ

Q 台湾の意欲ある若者を受け入れてモニターツアーを実施し、深川市のPRを図るインバウンドモニター受入PR事業は、新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況だが、実施の見通しについて伺う。

A 台湾と日本の行き来は、新型コロナウイルス感染症の影響で入国制限等の措置が行われており、国際的な観光の推進は非常に困難な状況となっております。今後の見通しは極めて難しいことから、今は、お互いの国の状況などについて情報交換を行っています。今後、国際的な活動が可能になった際に、円滑にインバ

ウンド観光事業が展開できるように、今まで本市が関係した台湾の方々のつながりを大切にしながら、しっかりと準備していく考えです。

Q 一已中学校のエレベーターの利用障がい者用エレベーターが利用できない状況になっている。バリアフリーの観点から稼働させることが望ましいと思うが、市の考えを伺う。

A 一已中学校のエレベーターは、平成13年の校舎改築に伴い、バリアフリーに配慮し設置しましたが、学校生活を送る上でエレベーターを必要とする生徒が在籍しなくなった平成18年度以降、保守点検経費削減などのため使用を休止しています。今後は、本設備が設置された経緯も踏まえ、障がいのある生徒などが在籍することが見込まれた際に、利用再開に向け検討する考えです。

掲載以外の 主な質問項目

- **太田 幸一** 議員
 - ・『道の駅』ライスランドふかがわ、『法律解釈』に矛盾はないか
 - ・『深川市立図書館』の書籍の充実は
- **佐々木一夫** 議員
 - ・前々回定例会で見送られた行政側の私への質問等について
 - ・まあぶの営業時間について
 - ・特別定額給付金とマイナンバーについて
- **辻本 智** 議員
 - ・深川市地域防災計画について
 - ・第2期「深川市子ども・子育て支援事業計画」について
 - ・「ふるさとふかがわの未来への提言」パネル展について
- **大前 昭代** 議員
 - ・市営住宅の現況について
- **田畑 陽美** 議員
 - ・インクルーシブ防災について
- **山本 時雄** 議員
 - ・後期高齢者医療制度について
- **田中 昌幸** 議員
 - ・非常勤特別職の報酬について
 - ・2020年度予算の組み替えについて
- **近沢 弘幸** 議員
 - ・新北海道スタイルと今後の対応について
 - ・エフパシオの利用状況と、今後の合宿誘致活動について
- **北名 照美** 議員
 - ・北海道の先住民族・アイヌの人々について
 - ・北海道開拓の礎となった囚人労働者へのリスペクトについて
 - ・日本国憲法の珠玉の第9条について
- **松本 雅祐** 議員
 - ・避難所の運営とマスク等の備蓄品を含めた防災対策について
 - ・新型コロナウイルス感染症対策の支援について
 - ・災害時に赤ちゃんを守るための乳児用液体ミルクの備蓄について
- **宮澤 孝司** 議員
 - ・新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・中心市街地の市道整備について
- **小田 雅一** 議員
 - ・特定健診、がん検診について
 - ・ふかがわパーク、ふかがわシールドについて

全ての質問内容は、深川市議会YouTubeチャンネルや市ホームページの一般質問通告表で確認できます。

深川市議会
YouTube
チャンネル



一般質問通告表:市HP



全国市議会議長会表彰

第96回全国市議会議長会定期総会において、本市議会の長野前議長と水上前副議長が正副議長表彰を受賞し、鶴岡議長が表彰状などを伝達しました。



・ **長野 勉** 前議長
(正副議長特別表彰 8年以上)



・ **水上 真由美** 前副議長
(正副議長表彰 4年以上)

教 え て 市 議 会

動議って何？

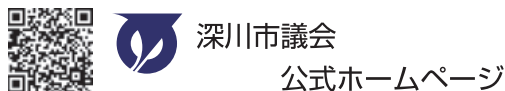
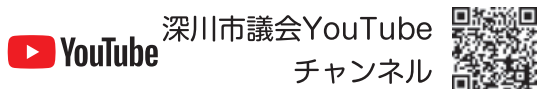
普段なじみのない議会の仕組みについて、今号では、動議の性質やその種類などを紹介します。

動議とは、主に会議の進行や手続に対して、議員が提議することをいいます。深川市議会では提案者のほかに1人以上の賛成者が必要と会議規則で定めており、基本的には口頭で申し出、案(文書)の提出は必要としないものです。ただし、動議の種類によっては提出要件、案(文書)の要・不要が異なります。

- ①案(文書)を提出する必要がないもの…緊急質問、日程変更・追加、質疑・討論の終結、休憩など
- ②案(文書)を提出する必要があるもの…条例案、条例や予算の修正案、懲罰の動議など

◆ 問合せ：深川市議会事務局内 ◆

〒074-8650 深川市2条17番17号
電話0164-26-2282 (直通)



編集後記



議論が分かれましたが、3月議会での一般質問を取りやめた結果、今回は多くの議員が通常の2倍の持ち時間で2巡の質問をしました。今号は2回分の質問の部分的報告になっています。また、第2回定例会最終日には議長と議会運営委員長への解任決議案も提案・否決されました。これとあわせ、ぜひ深川市議会YouTubeや会議録もごらんください。

広報編集委員 佐々木一夫